

(様式1・小学校用①)

令和6年度 学校評価報告

草加市立花栗南小学校

(令和7年2月13日作成)

1 学校教育目標 ○考える子 ・夢や志が持てる子・自ら学び、自ら考える子・最後まで粘り強くやり抜く子 ○思いやりのある子 ・自分と仲間を大切に作る子・正しく行動のできる子・お互いの良さを認め合える子 ○体をきたえる子 ・健康や安全に関心をもてる子・自ら進んで体をきたえる子・楽しく運動に取り組む子	
2 重点目標・努力目標 1 一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力の育成 2 心潤う生徒指導による豊かな心の育成 3 人権を大切に作る教育の推進 4 体育的活動の充実と体力の向上の推進 5 安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備 6 地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛される信頼を深める特色ある学校づくりの推進	3 前年度の成果と課題 成果 ○花栗中学校区で一貫した教育に係る研究に取り組んだことで、学校間の連携や児童の自己肯定感、自己有用感の育成が図られた。 課題 ●児童が未来を切り開いていく力を育成するための教育課程の研究

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○当初の計画通り学校の教育目標の具現化に向けた取組を進めることができた。 ●未配置になっている教員枠が埋まることで更なる工夫した取組ができる。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○研究主任を中心に、地域の人材を活用する等、教材開発を進め、ふるさと草加学習の充実を図ることができた。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○保健主事や養護教諭を中心にコロナ禍で行えなかった保護者が参加する学校保健委員会を行った。 ○安全主任を中心に、年3回の避難訓練や毎月の安全点検の実施。警察の協力を得た不審者対応訓練を行い、児童や教職員の危機管理の意識が高まった。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○情報教育主任を中心に、個人情報の管理について徹底したことで、学校事故0が継続された。 ●適宜修繕を行ってきたが、校舎の老朽化に伴い、次から次へと修理が必要となる。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○学校運営協議会を適切に運営し、開かれた学校づくりが推進された。 ○地域の行事に児童が参加したり、地域の人材を活用した授業を行ったりするなど連携した取組が推進された。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○同じ中学校区の学校や、進学先の中学校と定期的に連絡を取り、共通理解のもと教育活動を進めることができています。 ○幼稚園との交流事業に取り組み、充実させた。

草加市立花栗南小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育目標の具現化に向けて、授業改善をしながら適切に教育計画を進めることができた。 ○授業時数など適切に確保することができた。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	A	○花栗南スタイルの確立により、どの学級においても同様な学習の進め方ができるため進級時などとまどいなく学習を進めることができています。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いの中の教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○県教育委員会の事業を受けることにより、指導者を招聘した道徳科の授業研究を行うことができた。 ○道徳だよりを発行しすることで学校全体の教職員の指導力向上が図られた。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTの効果的な活用が図られた授業が実践できた。 ●学年の目標に応じた指導方法の更なる工夫が必要である。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	○異学年交流や地域との交流、保護者への公開など特色ある活動を展開することができた。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人材を活用した学習の展開が図られた。 ●教科横断的な学び、学際的な学びの実現に向け、今年度の取組をさらに整理する必要がある。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	○生徒指導主任を中心に、問題の未然防止の取組を計画的に進めるとともに、問題行動に対しては関係機関や保護者とも協力し適切な対応が行われている。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携により9年間を見通したキャリア教育の推進が図られた。 ●キャリアパスポートについてさらなる活用方法について検討が必要である。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の実態や保護者の願いに寄り添った通常学級との交流活動が進められている。 ○教育支援室との連携を図り、特別な支援が必要と思われる児童の支援策について理解が図られた。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○司書教諭が中心になり、学校司書の協力のもと学校図書館の環境整備が図られ読書自慢の児童の育成ができた。 ○学校応援団を活用した読み聞かせの時間の充実が図られた。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット等の効果的な活用方法について、研究を進めることができた。 ●児童が中心となり作成したICT機器の利用のきまりについて全体に浸透させる取組が必要である。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○人権作文や人権標語に全校で取り組んだ。 ○人権教育主任が中心となり、充実した研修が行えた。 ●児童1人1人が人権について考える機会を一層増やす取組を検討する必要がある。

(様式1・小学校用③)

草加市立花栗南小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題	
				○成果	●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	あいさつじまん	・あいさつ	B	○代表委員を中心に地域の「あいさつの会」の方と行っている朝のあいさつ運動に有志の児童も参加するなど活性化が図れた。 ●いつでもどこでも誰とでもあいさつのできる児童の育成。	
	どくしょじまん	・読書	A	○校内でのビブリオバトルの実施、学校応援団による読み聞かせの充実等、読書活動を進めることができた。	
	そうじじまん	・掃除	B	○全校での一斉清掃の充実や、日常的な清掃指導が進められている。 ●掃除の技能をさらに定着できるよう指導する必要がある。	

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

・保護者による「学校教育アンケート」では、「児童の安全な登下校」「児童のきまりや約束を守る意識」「教職員の授業に取り組む積極性」「教職員の誠実な対応」に係る項目については、95%以上が肯定的な評価であった。

・ふるさと草加学習に取り組み、地域の人材を活用したり、隣接する獨協大学と連携したりした学習活動やビオトープの整備・水田での稲作体験が進められた。

・学校から家庭への連絡手段として「すぐーる」の活用促進を図った。今後もさらに充実した活用を進めていく。

・施設の老朽化部分の修理や学習環境の整備について、適宜進めることができた。

・授業においてICT機器について花栗南スタイルの中での活用方法について理解が深まった。

・児童のメンタルヘルスに関する授業の実践と教育相談体制の充実、校内登校支援室の整備をすすめることができた。

6 次年度の改善策

- ・老朽化した施設の計画的な修繕
- ・不審者の侵入防止の取組や対策
- ・地域人材の更なる発掘と効果的な活用方法の研究
- ・児童の未来を創る力を育成するための教育課程の研究及び家庭学習でのICT活用等の取組の工夫
- ・様々な困難を抱える児童に寄り添った対応の充実